



2022. 7. 27

レンゴー(株)に対する「グリーンローン」のシンジケートローンに参加

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、SDGs への取り組みの一環として、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に取り組む企業を金融面から支援するため、「サステナブルファイナンス」の提供に取り組んでいます。

このたび、レンゴー(株)（代表取締役 社長兼 COO 川本洋祐氏）に対する、総額 50 億円のグリーンローンのシンジケートローンに参加しましたので、その概要をご案内します。

※グリーンローンは、企業等が環境問題の解決に貢献する事業（グリーンプロジェクト）に対する資金を調達するために用いる融資。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定され、調達資金が確実に追跡管理されるとともに、それらについて融資後のレポートングを通じて透明性が確保される。

1. シンジケートローンの概要

- (1) 契約締結日／7月 27 日（水）
- (2) 実行日／7月 29 日（金）
- (3) 組成金額／50 億円
- (4) アレンジャー兼エージェント／三井住友銀行
- (5) 資金用途／バイオマスボイラおよび RPF 製造設備の新設資金
木材由来の 100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設資金
- (6) 参加金融機関／12 行（静岡銀行、伊予銀行、大分銀行、紀陽銀行、群馬銀行、三十三銀行、七十七銀行、常陽銀行、千葉銀行、南都銀行、八十二銀行、福井銀行）

2. グリーンローンの対象となるプロジェクトについて

内容	①バイオマスボイラおよび RPF※製造設備の新設 ②木材由来の 100%生分解性素材であるセルロース微粒子プラントの新設 ※RPF/Refuse paper & Plastic Fuel の略称で、主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料を指す
目的効果	①利根川事業所敷地内（茨城県坂東市）に、木質チップおよび RPF を主燃料とするバイオマスボイラを新設し、LNG からの燃料転換を図ることで CO2 排出削減が期待される。また、RPF 製造にあたって、事業所近隣からの廃プラスチック等を受け入れることで、産業廃棄物の適正処理につながる ②金津工場敷地内（福井県あわら市）のセルロース微粒子製造工場に隣接する新プラントを建設する。セルロース微粒子への代替により、マイクロプラスチックビーズ起因の海洋汚染防止が期待される。また、新プラントには新技術（新規連続法）を導入し、薬品原単位ならびに電力原単位の低減を図る

【ご参考】レンゴー株式会社の概要

所在地	大阪市北区中之島 2-2-7 中之島セントラルタワー	創業	1909年(明治 42年)4月
資本金	31,066 百万円	売上高	746,926 百万円(2022年 3月期、連結)